



愛知医療学院短期大学

「学び」と「臨床」と「交流」を 同時体感し地域の人々の支えとなる

愛知医療学院短期大学は愛知県で唯一のリハビリ医療専門短期大学で、その歴史は今から38年前に

遡り、理学療法士・作業療法士養成校として中部地方で最も歴史のある私学の一つとなっています。

以来、約1800名にも上る卒業生を輩出し、高齢化社会が進み、理学療法士・作業療法士の需要が高まる中で、全国各地の医療機関や関連施設の第一線に従事しています。

設置されているリハビリテーション学科では、現場での経験豊富な講師陣による講義や、視野の幅広い専門家としての見識を持つ教育を行っています。それ以外にも地元・清須市との官学連携事業の一環「清須市民げんき大学」を

通して、介護予防活動の担い手として社会参加できる人材育成に力を入れています。

信頼関係と徹底指導で

就職率100%（2020年3月卒業生）

2020年3

月卒業生の就職

率は100%

（就職者数45名

／就職希望者数

45名）を達成。



少人数教育できめ細かな指導を徹底

学生の希望と求人先の内容調査に基づいた個人指導の徹底が、学生を大きく支えています。

さらに隣接する「ゆうあいリハビリクリニック」では、医療・福祉施設として運営する一方、学生たちの臨床実習にも活用され、医療の現場を知る機会となっています。また、4月には、「愛知医療学院短期大学附属ゆうあいこども園」が開園し、クリニック、短期大学の3つの組織が一体となって地域や行政と連携、地域に根ざした運営をしています。



いしかわ きよし
石川 清 学長

医学博士。愛知医療学院短期大学学長。名古屋第二赤十字病院名誉院長。